



## ボッシュ、2022年からタイでモーターサイクル用 ABS を生産

東南アジア諸国連合 (ASEAN) で事業を展開する世界的なモーターサイクルメーカーを現地でサポート

2021年8月2日

RBAS/GM-TH

M/COMR-AS

- ▶ 2022年第2四半期からタイのアマタ工場生産を開始
- ▶ タイでは排気量 125cc を超える二輪車の新型車に対し、アンチロック ブレーキシステム (ABS) の装備が 2024 年から義務化
- ▶ モーターサイクル用 ABS の装備により、二輪車事故の約 25% を防止可能

バンコク(タイ) – 二輪車のライディングをより安全で効率的、そしてさらに楽しいものにするというビジョンを実現するため、ボッシュは各地域市場で求められる製品やソリューションを世界的なモーターサイクルメーカーに提供しています。アジア市場における安全システムの需要拡大に対応するため、ボッシュは 2022 年第 2 四半期にタイのラヨンにあるアマタ工場生産を開始する予定です。アマタ工場は、ボッシュにとって日本とインドに続く世界で 3 番目のモーターサイクル用 ABS の製造拠点となります。このグローバルな製造ネットワークにより、ボッシュは世界的なモーターサイクルメーカーが取り組むサプライチェーンの最適化をサポートすることができます。「ABS 10 light と ABS 10 base によって、私たちは ASEAN の主要な交通手段である小型のスクーターやバイクに適した安全システムを提供します。四輪車用 ABS システムの生産実績を持つ工場での現地生産は、お客様にとってもメリットがあります」と、ボッシュのモーターサイクル & パワースポーツ事業部門を率いるジェフ・リアッシュは述べています。

1996 年以來、アマタ工場はボッシュにおける製造拠点としての重要性が増しており、シャシーシステム、電気駆動ドライブ、パワートレイン分野のさまざまな四輪車用部品を生産しています。2014 年からは四輪車用 ABS 製品の生産も手掛けています。

### 東南アジアにおける二輪車の安全性向上に向けた動き

タイ陸運局は 2021 年 5 月 15 日、2024 年以降、排気量 125cc を超えるすべての原動機付二輪車の新型車への ABS の装備を義務化すると官報を通じて発表しました。また、2026 年からはエンジン排気量 125cc を超える継続生産車にも ABS の搭載が義務付けられます。世界保健機関 (WHO) によると、タイの交通事故死亡率は

ASEAN 加盟国の中で最も高くなっています。東南アジア全体の人口 10 万人あたりの死者数が 20.7 人であるのに対し、タイは 36.2 人です。東南アジアでは、二輪車および三輪車による事故が、交通事故死者全体の 43%を占めています。

### ボッシュは交通安全のさらなる向上に貢献

二輪車の安全性を高めるには、ライダーの意識向上と安全運転に関する教育、そして車両への安全システムの導入が必要です。モーターサイクル用 ABS は、急ブレーキをかけた場合や滑りやすい路面を走行している場合でも、ライダーのブレーキ操作をサポートします。車輪のロックを防ぎ、車両の安定性を保ちながら最適な形での減速に貢献します。ボッシュの事故調査報告書では、もしすべての二輪車に ABS が装備されていれば、二輪車事故の約 25%を防止できたとされています。ボッシュの東南アジア担当リージョナルプレジデントであるマーティン・ヘイズは、「ユーザー重視のモビリティはボッシュの事業の核心であり、すべての道路利用者に対してモビリティをより安全にするテクノロジーを開発する原動力となっています。こうした開発を通じて、交通安全だけでなく、私たちが事業を展開している国や地域により貢献していきたいと考えています」と述べています。

### 報道関係対応窓口:

Kristina Reyes

DID: +6620128934

E-mail: Kristina.Reyes@th.bosch.com

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2020 年の決算報告での売上高は 421 億ユーロで、グループ総売上高の 59%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間)および Vehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2020 年の従業員数は約 39 万 4,500 人 (2020 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 715 億ユーロ (約 8.7 兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー 4.0 さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI (人工知能)を搭載する、もしくは AI が開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライ

フを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life.」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 129 の拠点で約 7.3 万人の従業員が研究開発に、約 3.4 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

\*2020 年の為替平均レート、1 ユーロ=121.8458 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)